

2つの実験結果に衝撃を受けました。

訪問看護師 森下麻里菜

講義の中で、ソロモン・アッシュの実験や、スタンリー・ミルグラムの実験について初めてお聞きし、人間の残忍な側面にとても衝撃を受けました。

それと同時に、なんとなく想像できてしまう自分に対しても、恐ろしく感じました。

日本以上に個人主義的なアメリカでさえもこの実験結果になったということは、もしかしたら日本ではもっと残忍性が高いかもしれないと思いました。いじめや誹謗中傷や戦争や、後から振り返ると「なんであんなことになったのだろう」と思うようなことも、渦中にいると自分の残忍性を抑えられなくなってしまうのかと思うととても怖いのです。

一方で、一人でも「違う」と声をあげることの重要性には、ハッと気づかされました。周りに合わせられる適応力ばかり求められている世の中ですが、先陣を切って反対意見を言うことは、世界を豊かにすると実感しました。

このシリーズに登壇してくださった方のお話を通して気づいたことは、前例を超え、前例を創ることができるような方々は、「常識から一歩離れて考えている」ということです。

一般的な常識の枠組みに当てはまらないような人が、より社会の中の居場所を増やすために各々が一生懸命乗り越えてきたことで前例が作られているのだと感じました。

ゲストの皆さんの「熱量が凄い」ということも、目からウロコでした。それぞれに自分自身の尊厳を保ちながらも、社会に対して前向きにアクションを起こしている姿勢がとても素敵だなと思いました。

15回参加して、「挑戦しよう」と思ったことは、積極的に同業者以外の人との交流を増やすことです。

普段人付き合いが少なく、関わる友人も看護師ばかりです。

できるだけ多様な背景を持った人と関わることで、自分自身の中に医療独特の常識に染まりすぎないように意識していきたいと思いました。